

Q&A BA100

Q 本製品以外に準備する機器や消耗品は？

A ルミノメーター、冷却遠心機、ボルテックスミキサー、測定用チューブ（測定用プレート）、マイクロピペッター、滅菌水（ATPフリー水）など。

Q 抗凝固剤は発光測定に影響ありますか？

A クエン酸系は発光反応に影響を受けない事を確認済みです。他の抗凝固剤、例えばEDTA系などは発光反応に影響を及ぼす化学物質ですが、キットの基本操作が10,000倍希釈なので無視できると考えられます。

Q 血球や血小板などの血液成分に分画した試料中のATP測定はできますか？

A 測定は可能です。念のため分画溶液中に発光阻害がないかご確認ください。

Q 血管内皮の裂傷を全血中ATP量の増加で判定できますか？

A 当社での実測経験はありませんが、ご検討されているお客様は多いです。

Q 血液中のATP分解酵素やATP合成酵素が影響して、測定値が真の値から外れることがありますか？

A ATP抽出試薬添加以降の操作では酵素阻害（抑制）されています。またその前操作の血液希釈操作では影響を受けない事を確認済みです。

Q サンプルの保管はできますか？

A 全血または血液成分分画で保存ください。キットに添付の血液希釈液添加以降は保存できる状態にはありません。

Q 発光試薬の調液後の保管条件は？ 保存期間は？

A 調液後は-80度保管で、速やかに消費してください。試薬の経時劣化はATP標準液を用いてご確認ください。

Q 検量線は測定日毎にとる必要がありますか？

A 測定データを比較検証するために、日差の有無やその度合いの指標となるよう、ATP標準液で既知濃度に対する発光量を確認しておいてください。

Q ウェルプレートで測定できますか？

A 発光測定するまでの検体前処理にウェルプレートの使用は不向きです。シングルチューブをご利用ください。発光測定には白色（または黒色）ウェルプレートの使用は可能です。ウェルプレート対応のルミノメーターをご使用の場合、測定ウエルの指定と動作プログラムを事前に確認設定してください。

Q 発光試薬に含まれるルシフェラーゼのオリジンは何でしょうか？ カルタヘナ法に準拠していますでしょうか？

A 北米産ホタル由来のルシフェラーゼを発光酵素として利用しています。酵素とその製法はカルタヘナ法に準拠しています。